

浜の活力再生プラン  
(第 2 期)

## 1 地域水産業再生委員会 ID 1122020

組織名	兵庫県地域水産業再生委員会但馬べにずわいがにかご漁業部会
代表者名	部会長 山下 徹

再生委員会の構成員	但馬漁業協同組合 香美町 兵庫県漁業協同組合連合会但馬支所、兵庫県但馬県民局
オブザーバー	—

対象となる地域の範囲及び 漁業の種類	兵庫県香美町 べにずわいがにかご漁業 9 経営体 63 名
-----------------------	----------------------------------

## 2 地域の現状

## (1) 関連する水産業を取り巻く現状等

<p>兵庫県の日本海側に位置する但馬地域は切り立った岩や岩壁が並ぶリアス式海岸で、風光明媚な地理特性から都心部からの観光客も多く訪れる。直線距離は 43km と短く、傾斜の緩やかな海底も狭いため、古くから沖合漁業を中心として発展してきた。</p> <p>沖合漁業の一漁業種として昭和 43 年に始まった香住のべにずわいがにかご漁業は、ベニズワイガニのみを漁獲する漁業で、最盛期の昭和 62 年には、18 隻が操業していたが、その後は、過剰な漁獲のために資源状態が悪化、漁獲量、操業隻数ともに大幅に減少した。また、平成 11 年に新日韓漁業協定が発効すると、漁場の約半分が暫定水域に含まれ、韓国漁船に占拠されたことで、残された EEZ 内の漁場に操業が集中、資源状態が悪化し、現在は大型船 1 隻、小型船 8 隻となっている。</p> <p>また、資源回復と漁業経営の安定を図るために平成 17 年に策定された資源回復計画に基づき、本県漁業者は 6 月の 1 ヶ月休漁に取り組んできた。資源回復計画は平成 23 年に終了したが、その後も平成 23 年 8 月に「べにずわいがにかご漁業資源管理計画」を策定し、自主的資源管理措置として 1 ヶ月休漁を継続している。この制度の活用により、漁業者は資源管理の推進と漁業経営の安定を図っている。また、ベニズワイガニは、ズワイガニと異なり安価な加工原料用というイメージがあるが、当該地区は近畿で唯一の水揚げ地であり、漁場にも比較的近く日帰り操業による鮮度の良さ等のメリットを有している。このため、漁業者、観光業者並びに水産加工業者は「松葉ガニ（ズワイガニ）」に並ぶ地域の観光資源として、高単価が期待できる活ガニでの出荷や大きさ等の一定基準による選別とタグ付けを行った「香住ガニ」のブランド化に取り組んでいる。</p>
---

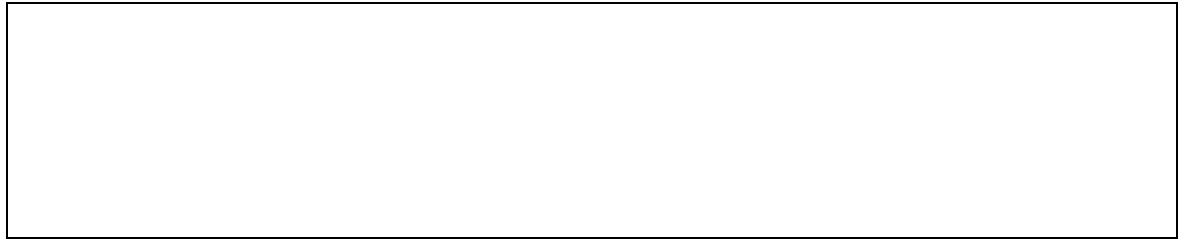
一方で、べにずわいがにかご漁業は、燃油価格の高騰など、漁業を取り巻く社会経済状況の大きな変化にさらされ、漁業経営は極めて厳しい状況にある。べにずわいがにかご漁業は、漁協のほか流通業者・加工業者・資材業者など多くの産業を支えており、これらに携わる人々の雇用や生活を含めると、同漁業の衰退は地域経済に大きな影響を及ぼすことになる。

## (2) その他の関連する現状等

- ・べにずわいがにかご漁業者は兵庫県べにずわいがにかご漁業協会を組織し、国、県及び日本海にかご漁業協会等の通知の効率的な伝達や操業に関する取り決め及び漁獲物の取扱等の漁業者間のルール作りなどに関する意志決定を行っている。
- ・但馬のべにずわいがにかご漁業は但馬漁協本所の香住地区でのみ水揚げされるが、専用荷捌き等一部の施設では老朽化が進み、今後の維持管理や施設更新に大きな不安がある。
  - ・但馬地域に位置する香美町では全国でも珍しい魚食普及条例を制定しており、地域一丸となった魚食普及の取組が行われている。この取組には地域の水産加工業者や漁業者が参加しており、「魚（とと）活隊」として積極的な魚食普及活動を推進している。

## 3 活性化の取組方針

### (1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

近畿圏唯一のベニズワイガニの水揚げ港であることや他産地より漁場が近く高鮮度であることの積極的なPRによる知名度向上、活ガニ出荷等による付加価値向上、消費拡大による魚価の向上を図る。また、省エネ操業の実施や漁業施設の更新によるコストの削減を推進し、漁業収益の向上を図る。この方針を推進するために以下の項目に取り組む。

1. 魅力ある水産物の提供による魚価の向上と販路及び消費の拡大
  - ・ 新技術活用等による水産物の鮮度保持による高付加価値化
  - ・ 水産加工業や観光業と連携した6次産業化やPR活動の推進
  - ・ 大消費地の量販店や外食産業と連携した販売促進
2. 資源管理の推進と漁業担い手の確保育成による漁業経営と収益性の安定化
  - ・ 資源管理計画の履行及び資源管理の積極的な推進
  - ・ 漁業構造改革総合対策事業を活用した魅力ある経営体の育成
3. 漁業コストの軽減と燃油高騰時への対応
  - ・ 省燃油活動や省エネ機器導入及び漁業経営セーフティーネット加入促進
4. 老朽化施設の再整備
  - ・ 荷さばき所や製氷施設等の老朽化した施設の再整備

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

- ・ 但馬漁業協同組合べにずわいがにかご漁業資源管理計画（知事許可船）
- ・ 但馬海区漁業調整委員会指示
- ・ 日本海べにずわいがに漁業における資源管理計画（大臣許可船）
- ・ 日本海沖合ベニズワイガニ資源管理協定書（大臣許可船）

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）（2019年度） 「所得0.5%向上」

取組内容は、取組も進捗状況や得られた成果を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	1. 魚価向上と販路及び消費拡大 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 活ガニ出荷による魚価向上</li></ul> べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、県認証食品として
--------------	--

認証されている「香住ガニ」の特徴である水揚げから出荷まで常に氷による冷却を実施した高鮮度出荷の徹底を図る。また、一部漁船は漁獲後速やかに冷却海水を満たした船内の活魚水槽にベニズワイガニを収容して持ち帰ることで、活ガニに出荷を行っているが、今後出荷量の増加を図るため冷却海水装置等の未整備漁船に対して、装置の導入整備を検討する。

・加工業者と連携した付加価値向上

べにずわいがにかご漁業者は地元加工業者や酒造メーカーと連携し、「紅がすみ（香住のカニ漁師が船上で干したカニの脚を炙って熱燗に入れ、ひれ酒のように風味と味わいを楽しんだことをヒントに作られた商品）」や新鮮な材料を用いた濃厚で味の良い高品質なベニズワイガニの「瓶詰めかにみそ」等の製造を加工業者と連携して取り組むとともに、香美町観光協会とタイアップして実施する「香住ガニまつり」における直接販売等により一般消費者に対してベニズワイガニやその加工品の良さを知ってもらう。

・量販店と連携した販路拡大

べにずわいがにかご漁業者全員で組織された県べにずわいがにかご漁業協会及び但馬漁協は、兵庫県漁業協同組合連合会と連携し、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び積極的な販売を推進するイオンやコープこうべ等の大消費地の量販店において、県漁連が指導・連携して但馬の魚の魅力をPRする販売推進員の配置や直接取引による積極的な販売促進に取り組む。また、漁業者や漁協女性部と協力し、コープこうべが実施する「生産者との交流会」において一般消費者のベニズワイガニに対する認識の向上を図り、消費拡大を推進する。

・外食産業への販路拡大

県べにずわいがにかご漁業協会及び但馬漁協は、地域物産のPRのために設立された香美町神戸営業所と連携して、神戸地区の洋風レストランで実施した「香住ガニパスタフェア」等の啓発イベントに新鮮な原材料を提供する等継続して協力するとともに、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び、県産品を使ったメニュー開発や県産品の県内外でのPRに取り組むキンビールや兵庫県漁業協同組合連合会の流通販売ルートを活用して、都市部のレストランや外食産業に対し、美味しい調理法等を紹介し、知名度の向上を図る。

・水産物で観光客を呼び込む地域作り

	<p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、香美町観光協会とタイアップし実施している「香住ガニまつり」での直接販売などのPR活動を継続して実施してベニズワイガニの知名度向上を図るとともに、都市部からの観光客が訪れる魅力ある地域作り方法について検討する。</p> <p>2. 資源管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理計画の遵守と自主的管理の推進 <p>べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、6月の1ヶ月休漁や小型ガニの混獲を防ぐための漁具への脱出リングの装着等、現在取り組んでいる資源管理計画に基づく自主的な資源管理に積極的に取り組むことにより、安定的な水揚げが維持できるよう資源の維持増大を推進する。</p> </li> </ul> <p>3. 漁業の担い手確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業構造改革総合対策事業による安定した経営の転換 <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は平成 20～23 年に実施した漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業）の実証事業により得られた経営改善効果や施設整備における課題を他のべにずわいがにかご漁業経営体に普及推進することにより経営安定化を推進し、担い手にとって魅力ある経営体を目指す。</p> </li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1. 省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減速航行と船底清掃の実施 <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、操業海域への移動時等における減速航行を徹底するとともに、係留中の機関停止や定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> </li> </ul> <p>2. 燃油高騰時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーネット加入促進 <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、燃油高騰時に備え漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を維持、促進する。</p> </li> </ul> <p>3. 省エネ機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リシップ等を活用した漁船、機関等の更新 <p>但馬漁協およびべにずわいがにかご漁業者は、老朽化が進む漁船2隻を中心にリシップ（船体は残し、機器を中心に配管も含めた大規模な修繕を行い、新船と同等の使用年数を確保する工事）や機関、漁労機器等の更新に必要なコストの縮減方策について検討する。</p> </li> </ul>

	<p>4. 老朽化施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化施設再整備による施設利用経費の削減</li> </ul> <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、作業の効率化と維持経費の軽減を図るため、製氷施設の整備や老朽化が進む荷捌き所等の共同利用施設の整備について検討を行う。</p>
活用する支援措置等	<p>水産業強化支援事業、水産基盤整備事業、漁業経営セーフティーネット構築事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁業構造改革総合対策事業</p>

2年目（平成32年度）（2020年度） 「所得1.5%向上」

取組内容は、取組の進捗状況や得られた成果を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 魚価向上と販路及び消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活ガニ出荷による魚価向上</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、県認証食品として認証されている「香住ガニ」の特徴である水揚げから出荷まで常に氷による冷却を実施した高鮮度出荷の徹底を図る。また、一部漁船は漁獲後速やかに冷却海水を満たした船内の活魚水槽にベニズワイガニを収容して持ち帰ることで、活ガニ出荷を行っているが、今後出荷量の増加を図るため冷却海水装置等の未整備漁船に対して、装置の導入整備を推進し、活ガニ出荷の増大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工業者と連携した付加価値向上</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者は地元加工業者や酒造メーカーと連携し、「紅がすみ」や新鮮な材料を用いた濃厚で味の良い高品質なベニズワイガニの「瓶詰めかにみそ」等の製造を加工業者と連携して取り組むとともに、香美町観光協会とタイアップして実施する「香住ガニまつり」における直接販売等により一般消費者に対してベニズワイガニやその加工品の良さを知ってもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・量販店と連携した販路拡大</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員で組織された県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、兵庫県漁業協同組合連合会と連携し、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び積極的な販売を推進するイオンやコープこうべ等の大消費地の量販店において、県漁連が指導・連携して但馬の魚の魅力をPRする販売推進員の配置や直接取引による積極的な販売促進に取り組む。また、漁業者や漁協女性部と協力し、コープこうべが実施する「生産者との交流会」において一般消費者のベニズワイガニに対する認識の向上を図り、</p>
---------------------	--

	<p>消費拡大を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外食産業への販路拡大 <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、地域物産のPRのために設立された香美町神戸営業所と連携して神戸地区の洋風レストランで実施した「香住ガニパスタフェア」等の啓発イベントに新鮮な原材料を提供する等継続して協力するとともに、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び、県産品を使ったメニュー開発や県産品の県内外でのPRに取り組むキリンビールや兵庫県漁業協同組合連合会の流通販売ルートを活用して、都市部のレストランや外食産業に対し、美味しい調理法等を紹介し、知名度の向上を図る。</p> </li> <li>・ 水産物で観光客を呼び込む地域作り <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、香美町観光協会とタイアップし実施している「香住ガニまつり」での直接販売などのPR活動を継続して実施してベニズワイガニの知名度向上を図るとともに、都市部からの観光客が訪れる魅力ある地域作り方法について検討する。</p> </li> </ul> <p>2. 資源管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資源管理計画の遵守と自主的管理の推進 <p>べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、6月の1ヶ月休漁や小型ガニの混獲を防ぐための漁具への脱出リングの装着等、現在取り組んでいる資源管理計画に基づく自主的な資源管理に積極的に取り組むことにより、安定的な水揚げが維持できるよう資源の維持増大を図る。</p> </li> </ul> <p>3. 漁業の担い手確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業構造改革総合対策事業による安定した経営の転換 <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は平成 20～23 年に実施した漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業）の実証事業により得られた経営改善効果や施設整備における課題を他のべにずわいがにかご漁業経営体に普及推進することにより経営安定化を推進し、担い手にとって魅力ある経営体を目指す。</p> </li> </ul>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1. 省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減速航行と船底清掃の実施 <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、操業海域への移動時等における減速航行を徹底するとともに、係留中の機関停止や定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃</p> </li> </ul>

	<p>油消費量を抑制する。</p> <p>2. 燃油高騰時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーネット加入促進 べにずわいがにかご漁業者全員は、燃油高騰時に備え漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を維持、促進する。</li> </ul> <p>3. 省エネ機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リシップ等を活用した漁船、機関等の更新 但馬漁協およびべにずわいがにかご漁業者は、老朽化が進んだ漁船2隻を中心にリシップや機関、漁労機器等の更新に必要となるコストの縮減方策を検討する。</li> </ul> <p>4. 老朽化施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化施設再整備による施設利用経費の削減 県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、製氷施設の整備を行い、手作業で行っている氷の積み込み作業の効率化による係船時間の短縮を図るとともに、引き続き老朽化が進む荷捌き所等の共同利用施設の整備について検討を行う。</li> </ul>
活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水産基盤整備事業、漁業経営セーフティーネット構築事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁業構造改革総合対策事業

3年目（平成33年度）（2021年度） 「所得3.5%向上」

取組内容は、取組の進捗状況や得られた成果を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組	<p>1. 魚価向上と販路及び消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活ガニ出荷による魚価向上 べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、県認証食品として認証されている「香住ガニ」の特徴である水揚げから出荷まで常に氷による冷却を実施した高鮮度出荷の徹底を図る。また、海水冷却装置や海水氷等を使用した冷却海水水槽を活用し、活ガニでのセリ出荷など高付加価値化に取り組む。</li> <li>・加工業者と連携した付加価値向上 べにずわいがにかご漁業者は地元加工業者や酒造メーカーと連携し、「紅がすみ」や新鮮な材料を用いた濃厚で味の良い高品質なベニズワイガニの「瓶詰めかにみそ」等の製造を加工業者と連携して取り組むとともに、香美町観光協会とタイアップして実施する「香住ガニまつり」における直接販売等により一般消費者に対してベニズワイガニやその加工品の良さを知ってもらう。</li> </ul>
--------------	--



・量販店と連携した販路拡大

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、兵庫県漁業協同組合連合会と連携し、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び積極的な販売を推進するイオンやコープこうべ等の大消費地の量販店において、県漁連が指導・連携して但馬の魚の魅力をPRする販売推進員の配置や直接取引による積極的な販売促進に取り組むとともに、低コストで安定した物流体制の構築、流通エリアの拡大について大手量販店との検討を行う。また、漁業者や漁協女性部と協力し、コープこうべが実施する「生産者との交流会」において一般消費者のベニズワイガニに対する認識の向上による鮮魚消費拡大を図る。

・ 外食産業への販路拡大

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は香美町神戸営業所や兵庫県漁業協同組合連合会と連携して都市部レストランや外食産業への普及を推進するとともに、直接取引による積極的な販売促進を図る。

・ 水産物で観光客を呼び込む地域作り

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、ベニズワイガニを地域資源とした魅力ある観光地作りに地域の水産加工業者や民宿関係者と連携して取り組み、「香住ガニまつり」での直接販売を中心としてインターネットを活用したPRや都市部でのポスター掲示等により知名度向上を推進し、ベニズワイガニを求めて来訪する観光客の増大を図る。

2. 資源管理の推進

・ 資源管理計画の遵守と自主的管理の推進

べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、6月の1ヶ月休漁や小型ガニの混獲を防ぐための漁具への脱出リングの装着等、現在取り組んでいる資源管理計画に基づく自主的な資源管理に積極的に取り組むことにより、安定的な水揚げが維持できるよう資源の維持増大を推進する。また、より効果的な新しい資源管理方針についても検討を進める。

3. 漁業の担い手確保と育成

・ 漁業構造改革総合対策事業による安定した経営の転換

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は平成 20～23 年に実施した漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業）の実証事業により得られた経営改善効果や施設整備における課題を他のべにずわ

	<p>いがにかご漁業経営体に普及推進することにより経営安定化を推進し、担い手にとって魅力ある経営体を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1. 省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減速航行と船底清掃の実施</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、操業海域への移動時等における減速航行を徹底するとともに、係留中の機関停止や定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <p>2. 燃油高騰時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーネット加入促進</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、燃油高騰時に備え漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を維持、促進する。</p> <p>3. 省エネ機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リシップ等を活用した漁船、機関等の更新</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者は、漁船の更新時におけるリシップの活用や老朽化した機関、漁労機器等の省エネ機器への更新に取り組む。</p> <p>4. 老朽化施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化施設再整備による施設利用経費の削減</li> </ul> <p>県べにずわいにかご漁業協会及び但馬漁協は、製氷施設の整備を行い氷の積み込み作業の作業の効率化の検証を行うとともに、引き続き老朽化が進む荷捌き所等の共同利用施設の整備について検討を行う。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>水産業強化支援事業、水産基盤整備事業、漁業経営セーフティーネット構築事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁業構造改革総合対策事業</p>

4年目（平成34年度）（2022年度） 「所得7.0%向上」

取組内容は、取組の進捗状況や得られた成果を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 魚価向上と販路及び消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活ガニ出荷による魚価向上</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、県認証食品として認証されている「香住ガニ」の特徴である水揚げから出荷まで常に氷による冷却を実施した高鮮度出荷の徹底を図る。また、海水冷却装置や海水氷等を使用した冷却海水水槽を活用し、活ガニでのセリ</p>
---------------------	---

出荷など高付加価値化に取り組む。

・加工業者と連携した付加価値向上

べにずわいがにかご漁業者は地元加工業者や酒造メーカーと連携し、「紅がすみ」や新鮮な材料を用いた濃厚で味の良い高品質なベニズワイガニの「瓶詰めかみそ」等の製造を加工業者と連携して取り組むとともに、香美町観光協会とタイアップして実施する「香住ガニまつり」における直接販売等により一般消費者に対してベニズワイガニやその加工品の良さを知ってもらう。

・量販店と連携した販路拡大

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、兵庫県漁業協同組合連合会と連携し、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び積極的な販売を推進するイオンやコープこうべ等の大消費地の量販店において、県漁連が指導・連携して但馬の魚の魅力をPRする販売推進員の配置や直接取引による積極的な販売促進に取り組むとともに、低コストで安定した物流体制の構築、流通エリアの拡大について大手量販店との検討を行う。また、漁業者や漁協女性部と協力し、コープこうべが実施する「生産者との交流会」において一般消費者のベニズワイガニに対する認識の向上による鮮魚消費拡大を図る。

・外食産業への販路拡大

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は香美町神戸営業所や兵庫県漁業協同組合連合会と連携して都市部レストランや外食産業への普及を推進するとともに、直接取引による積極的な販売促進を図る。

・水産物で観光客を呼び込む地域作り

県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、ベニズワイガニを地域資源とした魅力ある観光地作りに地域の水産加工業者や民宿関係者と連携して取り組み、「香住ガニまつり」での直接販売を中心としてインターネットを活用したPRや都市部でのポスター掲示等により知名度向上を推進し、ベニズワイガニを求めて来訪する観光客の増大を図る。

2. 資源管理の推進

・資源管理計画の遵守と自主的管理の推進

べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、資源管理計画等の見直しを検討し、資源状況も勘案した上でより効果的な措置を盛り込んだ自主的な新しい資源管理に積極的に取り組むことにより、安

	<p>定期的な水揚げが維持できるよう資源の維持増大を図る。</p> <p>3. 漁業の担い手確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁業構造改革総合対策事業による安定した経営の転換</li> </ul> <p>県べにずわいがかご漁業協会及び但馬漁協は平成 20～23 年に実施した漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業）の実証事業により得られた経営改善効果や施設整備における課題を他のべにずわいがかご漁業経営体に普及推進することにより経営安定化を推進し、担い手にとって魅力ある経営体を目指す。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>1. 省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 減速航行と船底清掃の実施</li> </ul> <p>べにずわいがかご漁業者全員は、操業海域への移動時等における減速航行を徹底するとともに、係留中の機関停止や定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <p>2. 燃油高騰時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セーフティーネット加入促進</li> </ul> <p>べにずわいがかご漁業者全員は、燃油高騰時に備え漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を維持、促進する。</p> <p>3. 省エネ機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リシップ等を活用した漁船、機関等の更新</li> </ul> <p>べにずわいがかご漁業者は、漁船の更新時におけるリシップの活用や老朽化した機関、漁労機器等の省エネ機器への更新に取り組む。</p> <p>4. 老朽化施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化施設再整備による施設利用経費の削減</li> </ul> <p>県べにずわいがかご漁業協会及び但馬漁協は、製氷施設の整備を行い氷の積み込み作業の効率化の検証を行うとともに、老朽化が進む荷捌き所等の共同利用施設の整備を行う。</p>
活用する支援措置等	<p>水産業強化支援事業、水産基盤整備事業、漁業経営セーフティーネット構築事業、水産物供給基盤機能保全事業、漁業構造改革総合対策事業</p>

5年目（平成35年度）（2023年度） 「所得12.0%向上」

取組の最終年度であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするようプランの取組の成果を検証し、必要な見直しを行う。

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>1. 魚価向上と販路及び消費拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活ガニ出荷による魚価向上 <p>ベにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、県認証食品として認証されている「香住ガニ」の特徴である水揚げから出荷まで常に氷による冷却を実施した高鮮度出荷の徹底を図る。また、海水冷却装置や海水氷等を使用した冷却海水水槽を活用し、活ガニでのセリ出荷など高付加価値化に取り組む。</p> </li> <li>・ 加工業者と連携した付加価値向上 <p>ベにずわいがにかご漁業者は地元加工業者や酒造メーカーと連携し、「紅がすみ」や新鮮な材料を用いた濃厚で味の良い高品質なベニズワイガニの「瓶詰めかにみそ」等の製造を加工業者と連携して取り組むとともに、香美町観光協会とタイアップして実施する「香住ガニまつり」における直接販売等により一般消費者に対してベニズワイガニやその加工品の良さを知ってもらう。</p> </li> <li>・ 量販店と連携した販路拡大 <p>県ベにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、兵庫県漁業協同組合連合会と連携し、兵庫県と「県産品活用と知名度向上連携協定」を結び積極的な販売を推進するイオンやコープこうべ等の大消費地の量販店において、県漁連が指導・連携して但馬の魚の魅力をPRする店員等の販売推進員の配置や直接取引による積極的な販売促進に取り組むとともに、量販店の流通システム等と連携した低コストで安定した物流体制の構築、流通エリアの拡大を推進する。また、漁業者や漁協女性部と協力し、コープこうべが実施する「生産者との交流会」において一般消費者のベニズワイガニに対する認識の向上による鮮魚消費拡大を図る。</p> </li> <li>・ 外食産業への販路拡大 <p>県ベにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は香美町神戸営業所や兵庫県漁業協同組合連合会と連携して都市部レストランや外食産業への普及を推進するとともに、直接取引による積極的な販売促進を図る。</p> </li> <li>・ 水産物で観光客を呼び込む地域作り <p>県ベにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、ベニズワイガニを地域資源とした魅力ある観光地作りに地域の水産加工業者や民宿関係者と連携して取り組み、「香住ガニまつり」での直接販売を中心としてインターネットを活用したPRや都市部でのポスター掲示等により知名度向上を推進し、ベニズワイガニを求めて来訪する</p> </li> </ul>
---------------------	--

	<p>観光客の増大を図る。</p> <p>2. 資源管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源管理計画の遵守と自主的管理の推進</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員及び但馬漁協は、資源管理計画等に基づき、より効果的な措置を盛り込んだ自主的な新しい資源管理に積極的に取り組むことにより、安定的な水揚げが維持できるよう資源の維持増大を図る。</p> <p>3. 漁業の担い手確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業構造改革総合対策事業による安定した経営の転換</li> </ul> <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は平成 20～23 年に実施した漁業構造改革総合対策事業（もうかる漁業）の実証事業により得られた経営改善効果や施設整備における課題を他のべにずわいがにかご漁業経営体に普及推進することにより経営安定化を推進し、担い手にとって魅力ある経営体を目指す。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>1. 省燃油活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減速航行と船底清掃の実施</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、操業海域への移動時等における減速航行を徹底するとともに、係留中の機関停止や定期的な船底清掃による航行時の抵抗削減など、省燃油に繋がる活動を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <p>2. 燃油高騰時の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セーフティーネット加入促進</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者全員は、燃油高騰時に備え漁業経営セーフティーネット構築事業への加入を維持、促進する。</p> <p>3. 省エネ機器の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リシップ等を活用した漁船、機関等の更新</li> </ul> <p>べにずわいがにかご漁業者は、漁船の更新時におけるリシップの活用や老朽化した機関、漁労機器等の省エネ機器への更新に取り組む。</p> <p>4. 老朽化施設の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化施設再整備による施設利用経費の削減</li> </ul> <p>県べにずわいかにかご漁業協会及び但馬漁協は、製氷施設の整備を行い作業の効率化の検証結果をもとに他施設への応用を検討するとともに、老朽化が進む荷捌き所等の共同利用施設の整備を行い、維持経費等の削減による施設利用料等の経費節減を図る。</p>

活用する支援措置等	水産業強化支援事業、水産基盤整備事業、 漁業経営セーフティネット構築事業、水産物供給基盤機能保全事業、 漁業構造改革総合対策事業
-----------	--

(5) 関係機関との連携

<p>地域行政（兵庫県、香美町）、系統団体（兵庫県漁業協同組合連合会、兵庫県信用漁業協同組合連合会、兵庫県漁業共済組合）、地域団体（香住水産加工業協同組合、柴山水産加工業協同組合、香住観光協会）と連携して取り組む。また、県内外の流通業者、量販店、飲食店等とも連携を図る。</p> <p>根拠地漁港における水産物供給基盤機能保全事業及び海岸堤防等老朽化対策事業の計画策定及び事業実施に協力し、当該漁港の維持管理を推進することをもって漁家資産及び背後地住民の生命・財産を守る事に協力する。</p>
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上10%以上	基準年	平成29年度： 漁業所得
	目標年	平成35年度： 漁業所得

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

--

(3) 所得目標以外の成果目標

新商品開発及び料理メニュー開発数	基準年	平成29年度： 0（種類） 2017年度
	目標年	平成35年度： 5（種類） 2023年度

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<ul style="list-style-type: none"><li>・但馬漁協に聞き取り調査を行い、平成29年度に新商品開発数、料理メニュー開発数を基準年として算出した。</li><li>・ベニズワイガニを使用して新商品開発及び料理メニュー開発数を1年間に1種類を目標値とした。</li></ul>
---

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
水産業強化支援事業・水産基盤整備事業	荷捌き所、製氷・搬氷施設等の共同利用施設の整備により漁業経営の強化とコストの削減を図る。
漁業経営セーフティネット構築事業	燃油の高騰に備えて収入の安定を図る。
水産多面的機能発揮対策	魚食普及の推進により魚価の向上を図る。
漁業構造改革総合対策事業	省エネ型代船健造等による収益性改善実証を行い操業の効率化を図る。
未定	新規技術を応用した鮮度保持により魚価の向上を図る。
水産物供給基盤機能保全事業	漁港施設の長寿命化計画の策定及び漁港施設の補修を行うことで漁家資産の保全を図る。
海岸堤防等老朽化対策事業	岸保全施設の老朽化対策を計画的に推進することで漁家及び背後地住民の生命・財産を守る。